

校長室だより

No. 18

平成29年9月8日(金)

強く やさしく

六ツ美中部小学校校長

かとうよし かず
加藤嘉一

全校合唱を大切にしたい ー敬老会の小学校の出し物ー



【本年度の全校合唱練習の様子】

今年の敬老会で、中部小学校の子供たちは、NHK連続テレビ小説の主題歌となった「365日の紙飛行機」を全校合唱します。高学年が少し難しいパートを歌い、二部合唱します。体育館の舞台は、子供だと300人くらいが立つことのできる限界です。しかし、今年もこの敬老会で、全校の子供による合唱を披露したいと思っています。

わたしが、この敬老会で全校合唱を行うからこそ得られる価値を次のように考えています。

◇学区の方々のために一生懸命歌うことが、人の喜びにつながり、見て聞いてもらうことで自分も楽しさや喜びを感じる経験ができる。 【交流による成就感】

◇学区の方には、学校ならではの子供の合唱の姿を見てもらうことで、子供がくれるエネルギーを感じてもらう機会となる。また自分の子供の頃を思い出したり、今後子供の姿を思い浮かべてもらったりするきっかけ作りとなる。

【子供が生み出す力の体感と、心の交流のきっかけ作り】

◇歌声を美しく感動的なものに作り上げる音楽的な学びがある 【音楽的な学び】

◇全校でしか生まれない歌声のよさを味わうことができ、全校のみんなで作あげた思い出の曲ができる。 【学校でしか得られない楽しさ・思い出作り】

「子供の生き生きとした姿を見るだけで涙が出てくる」といった人の話を覚えています。わたしも一生懸命練習している子供の姿を見て、これまでも増して感動する機会が多くなりました。入学してまだ5か月の1年生から、あと少しで中学校へ進学する6年生まで、同じ一生懸命も、表れる姿の違いに成長を感じ、感動します。また、子供の声や歌い方の拙さに愛おしさを感じることもあるし、小さい子供の歌っているときの内面を想像するとき、感動するのです。

今年は、昨年より全校児童数が多くなりました。できるだけ多くの子供の顔が見えるようにしたいという思いで、足場にするようかん台を購入しました。学芸会でも使用します。購入に関して、同窓会に御協力いただきました。ありがとうございました。明日の敬老会で子供の歌う姿を見て聞いて、皆さんがあたたかいものを持って帰っていただけたらうれしく思います。

稲刈り（2・5年）と虫取り（1年）と

本誌5月17日号（第6号）でも御紹介しましたが、今年から田植え・稲刈り体験は、二村さんの息子さんがボランティアで行ってくれています。雨で活動が1日遅れましたが、7日（木）に無事稲刈り体験をすることができました。子供たちはやる気満々でした。鎌を使って稲を刈る体験、貴重です。そして、1年生は堤防で生活科の虫取りです。アレルギーなど注意しないといけません、見ていると自分で虫取りができる子、人に頼る子、この段階では様々でした。大切な活動です。こうした機会を今後も大切にしていきます。



先生メモより

始業式の子供たちがとても落ち着いていました。入退場で職員室前を通るときも、だれもしゃべらず移動していました。

避難訓練でも、同様に真剣な表情で上学年が下学年を連れて整然と行うことができました。いいスタートが切れた2学期初日でした。

担任の先生方の子供たちを迎える準備がしっかりされていたと思います。また、（夏休み中）黙々と草を取ってくださったA先生、通級教室をきれいに掃除してくださったB先生、家庭科室を磨いてくださったC先生、山のような草とごみを何も言わず片付け続けてくださったDさんなど、子供たちを大切に思ってくださいる方々に支えられて、学校生活があります。

【9月1日 E先生メモ】

学生支援員さん 中部小に

岡崎市教育委員会は、将来、教職または臨床心理士を希望する大学生、大学院生を対象に、小中学校での活動を通して、当該職種に対する適正の把握、意識の向上を図る学生支援員を受け入れています。本校では、9月6日（水）から1人を受け入れました。学校のサポートをしながら学校について学んでもらいます。御承知ください。

■氏名 小島万里奈さん（大学2年生）

■来校日 2学期の水曜日午前中（給食終了時まで）